

# 第4期四谷地区協議会会議録

分科会名	第2分科会		開催回	平成24年度 第3回
開催日	平成24年7月18日(水) 14:00～16:00			
出席者	区民 他	委員6名 他分科会委員1名	職員	出張所職員2名 四谷高齢者総合相談センター職員1名 社会福祉協議会職員1名
主なテーマ	1 「新宿区介護予防教室」と「四谷地区協議会の高齢者向け健康体操教室」 その現状と課題について(意見交換) 高齢者福祉課職員来会			
	2 健康体操関連について(各会場の様子等交えた意見交換等)			

## 1 「新宿区介護予防教室」と「四谷地区協議会の高齢者向け健康体操教室」 その現状と課題について(意見交換)

### ◆「新宿区介護予防教室」(説明に変えテキストが配布される)

- ・区では特定高齢者に対して介護予防教室を開講している。介護対象にならないよう、また、できるだけ自立した生活ができるようことを目的に介護予防教室を開催している。本来、元気な間に(各自で体操等)取り組んでいただき、介護予防教室へ参加しなくてもよいようになっていただきたい。
- ・では、そのために役所が(四谷地区協議会に)どのような支援ができるかと言うと、金銭的な面の支援は(高齢者福祉課には)できないので申し訳なく思う。
- ・(逆に)四谷で介護予防教室を卒業された方、対象外の方で体操教室に通いたい方を(四谷地区協議会の講座を)紹介させていただいている状況である。

### ◆今月の健康体操教室の各会場の開催状況

会場	人数	開催状況等
四谷ひろば	40名前後	熱中症対策に留意している
新宿地域交流館	10～15名	四谷管内外より参加されている方と地元の参加者とのコミュニケーションが課題と感じる。
霞ヶ丘	15名前後	大きな変化はないが、暑くて引きこもらない様声掛けしていきたい。
若葉	13名前後	蔭山先生の都合により岡田先生に代講を依頼した。
信濃町 シニア活動館	20名内	体力的に弱い方への留意を怠らない様にしてている。 高齢者総合相談センターから紹介された方も参加している。
四谷中学 花園小学校	各20名位	学校行事による会場変更があった。

◆四谷地区協議会の体操教室の課題についての意見交換

○課題と感じているところ（前月会議録参照）

- ① 事故発生時の自己責任を明確に伝える必要があるのか。
- ② 必要がある場合は参加承諾書のようなものが必要であるのか。
- ③ 区の講座では①②の件をどのように考え、どのように対応しているのか。
- ④ 参加前に個人の健康リスクをどの程度把握しているのか。逆に知ることで責任が付加されてしまう可能性もあるのではないか。
- ⑤ 高齢者が気軽に近所で筋力向上を目指せる講座でありながら、求められる要素が増えてきた。（特に信濃町地域交流館会場）このことは高齢者の増加に伴い今後増えてくる可能性もある。現時点で再検証しておきたい。
- ⑥ 歯科衛生指導、熱中症対策指導等を時々講座内に組み入れていきたい。区の支援をお願いしたい。

（課題に関連する補足意見と解決案）

○＝協議会委員 ●＝高齢者福祉課職員による参考意見

■＝参考意見に対する協議会意見

委員○病気、けが等で不安定な状況で参加されている方の運動中のサポートに不安がある。ご家族の付き添いがあれば安心だが、そうでない時の対応が懸案事項である。自己責任が基本ではあるが心配な部分です。

職員●区の講座ではリスクを管理しています。介護予防のやり方でやっている。もちろん医師、保健士、看護師等のオブザーバーもある。  
参加申請書で病歴などについても詳細に伺い慎重にしている。  
受講条件の禁止事項もはっきり決まっている。例) 脳梗塞等起こした場合6か月たたないと受講できない。血压管理では当日 ↑180 ↓90 の方は見学していただいている。

職員●しかしながら区民が区民に提供する協議会の様な健康体操講座ではその申請書と同じである必要はないと思う。申請書を参考にさせていただきアレンジしてはいかがでしょうか。

職員●当事者ご本人にリスクの認識がない場合がある。ご家族にも認識していただきたい部分がある。

■体操受講に際し、気を付けていただきたいことを注意喚起できるよう工夫したい。ぜひ、申請書を参考にさせていただきたい。

■今後は参加ハードルの低い講座に、リスクのある参加者が増える可能性もある。区のようなリスク管理はむずかしいが、できるだけ気をつけたい。

委員○現在まで事故もなく順調に開催できている。

全教室自由参加であるので個人情報には掌握できないことが多い。

町会の協力を得て開催しているとそのあたりがカバーされているのでありがたい。緊急時の対応を考えるとどこまで知っておけばよいか迷う。

緊急連絡先などを把握すべき時期にきていると思う。

委員○参加自由という講座は気楽で縛りが無いというメリットもあるが、危機管理的な部分では問題があると感じる。特に地域外の方がふらっと参加し、倒れた場合にどこに連絡すべきか手掛かりが無いようでは困る・・・

職員●緊急連絡先は把握した方がいい。

3. 1 1（東日本大震災）で都市部でも緊急連絡が必要な状況になった体験以降緊急連絡先の記入に関して、ご理解いただけるようになった。様々な事情で記入を拒む方もいらっしゃるが、頼み方を工夫してみたい。

■参加時にご本人の住所氏名緊急連絡先は記入していただくこととする。

個人情報の保管については慎重に検討することとした。

委員○参加料を受益者に負担している講座でも講師料金の全額負担はむずかしい。（四谷ひろば）を除く。公的援助（現在はまちづくり活動支援助成金）があつてこそ継続できる。（協議会では参加料の負担を現状以上にはしない方向性である。）

職員●四谷地区協議会の活動は他地区とかなりちがう。個人的には援助できればよいと思うが、四谷だけの援助をしていくことはむずかしい。他地区でも（講座が）広がり、全体を同じように援助できれば公平でよいが・・・他地区でも（均等に地域発信型の）講座ができるよう呼びかけていきたい。

自主グループ活動の活性のために年間三回までの講師派遣という人的助成を行っているが、四谷のようにすでにプロ講師による体操スタイルを確立している所へ講師を派遣しても、いたしかたないと思っています。

■協議会への助成金以外がむずかしいことは理解できる。

協議会講座で講師が休む時に代行として講師派遣をお願いしたい。

職員●急な派遣はできない。前月15日までに申請を出していただければ対応できます。

委員○体操のことにも関係するが、旧ことぶき館等の利用について、地域として課題を感じている。例えば、地域外の方の利用が、地元の利用者を圧迫するようなこともある。ことぶき館が新宿区の高齢者のための地区割り利用でないことはよくわかっているが・・・。他所でトラブルを起こした人が地元施設に居づらくなり、遠い施設に通ってくるケースがある。区では「皆さんにどこでもどうぞ」と紹介するが、そのような場合に、コミュニティの秩序が乱れて、長年通っていた地元住民が遠慮してしまわれ、参加できなくケースがあり残念です。

職員●地域交流館となり、指定管理者には介護予防の自主事業をしてもらっています。また、区の方針でも、ことぶき館（あるいは地域交流館）には限られた人だけではなく多くの人に使って欲しい施設となっています。館の事業として取り組んでいただいているものもいつ行っても縛られることなく参加できるようなスタイルでお願いしている。

委員○気軽に来やすいことはいいが、なるべく地元の地域の交流館に通って欲しい。困りごとを起こして、よその館に来る人はそこでもトラブルを起こすケースが多い。

職員●個性の強い人が地元の館から移る現状があることは理解できる。区でも今回の組織編成の際に、高齢者施設（ことぶき館系）の運用などが、わかりやすいように高齢者事業係として一本化して編成したので、今まで情報が薄かった部分の解消につながった。しかしながら、利用館を限定することはできない。問題がある方だとしても排除する事での問題解決はできない。ご理解いただきたい。

職員●地域交流館では、利用率低い（区民が使っていない）時間帯で介護予防教室をしている。区の開催している教室は協議会の教室と役割違う。できるだけ多くの人に利用していただきたい。ただし、利用率の向上のために利用者にトラブルがあつていいのかと言われると、それは違う。その整理がむずかしいと感じる。また、ある地域ではことぶき館機能の施設を必要としないという地元の意見により、施設そのものがない。そのような施設がない地域の方は他所に行かざるを得ない状況があることもご理解いただきたい。

■おとなしい人が遠慮する現在の状況は、やはり腑に落ちない……。自己主張の強い地域外の利用者が増えても、地元のためにはならない。区では不公平を是正していただく知恵を出してほしい。課題を明確にして検討していただきたい。お住まいのお近くの館でコミュニケーションを深めていただくことが、館の設置目的の一つだと思います。そこをよく考えてご検討いただきたい。

委員○区の介護予防体操は単発（期間限定）で参加料が無料。地域の講座は個人の意思で長く継続できるのに参加利用は200円（無料に設定している講座もある）・・・長く継続して介護予防になるものこそ費用負担なく展開すれば、将来的な介護保険の利用がなくて済む。参加料金を徴収しなくて済むようにしたいが、限りある助成金を圧迫しないよう受益者負担とし、葛藤を感じる。

区民が税金による助成金を大切に運用するために、努力しているのは、自分たちの課題を明確にした上でこのような講座が必要だと感じているからである。区も私たちに活動をこのような活動を推進して欲しいと言われるが（今以上の）援助もいただけなく矛盾を感じる。このあたりのことを今後、真剣に検討していただきたい。

◆職員によるまとめ◆

職員●区が推進するより事業より、地域の方の連携による推進する事業が優れていることがあり職員としてもがんばらないといけないと感じている。

今後も、皆さんと協働させていただきながら、課題を考えていきたいと思いません。本日の意見を持ち帰り、三か年計画等に反映できるよう検討させていただきたい。

職員●本活動は、新宿区全体に地域活動の成功事例として紹介できる活動です。協議会の団体連携が機能し、尚且つ継続している活動です。どのような形で皆さんが活動を支えていけるか区も協働して考えるべきであると理解しています。

2 多世代交流について

① 「なんげんトープ夏の思い出大募集」に関する計画案の確認（別紙チラシ参照）

○作品はジャンルを限定せずに、多種多様に募集することとした。

○展示だけではなく、多世代交流を目的とした親睦会を開催し、「なんげんトープ」に対する思いを語り合いたいと思う。（

意見・展示作品に親睦会で語られた思いをコメントとして添えてはいかがか。

→実行することとした。

・イベントをやるたびに輪が広がっていくようにしたい。

・「なんげんトープ」を足掛かりにし、多世代交流が広がっているとよいと思う。

・公園サポーターについても周知して募っていききたいと思う。

② 「この夏を惜しんで水で遊ぼう」（子育て応援事業）について

・7月24日に四子連（四谷子育て関係団体連合会）主体の実行委員会に事務局が出席予定。協議会では例年通りの協力をする旨を伝える。

3 その他

① 情報提供等

・学校プール開放（スポーツ交流推進委員会受託事業）での水泳教室開催について別紙チラシ参照

・高齢者総合相談センター

8月の教室では〇〇製菓の提供商品を配布しながら熱中症予防啓発をさせていただきたい。→協議会了承

・社会福祉協議会

地域コーディネーター講座の案内

・コミュニティガバナンス研究会（傍聴）

今後も研究結果の地域報告会を行う予定です。

・四谷地区文化・スポーツ協議会によるイベントは11月3日四谷ひろばで開催。

次回日程

平成24年8月29日(水)16:00~18:00 四谷特別出張所会議室  
終了後 親睦会予定（自由参加）

